

令和7年度 事業計画

1 基本方針

昨年の前半から物価上昇が継続しております。主な要因としては、エネルギーの価格の上昇や気候変動を受けやすい野菜類の収穫減少、また、最低賃金の引き上げによる人件費の増加と思われ、低所得層ほど負担が大となっております。

そのような状況下、人口減少・少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中、人生100年時代を見据え、高齢者の生きがい居場所づくりとして、シルバー人材センターは重要な役割を担っております。

また、当町でも急速に進んでいる少子高齢化と人口減少の中で、「生きがいと仲間づくり」高齢者が自ら培った豊富な知識や経験を活かし、働くことを通して健康で生きがいのある生活の実現や「健康寿命」の延伸を目指しています。

シルバー人材センターの会員が元気で就業する事は、健康寿命が伸び医療費等の節減にもつながりその効果は計り知れないものがあります。

今までの、全シ協(※1)「第2次会員100万人達成計画」が終了し「新たな仲間拡大計画～10万人の増加を目指して！～」に係る目標に沿って取り組みます。

また、令和7年、8年度の2ヵ年をかけて当センターの「中期事業推進計画」の作成を進めます。将来の課題の対応や円滑な事業運営の指針策定を今後進めていき、会員の退会抑制や就業拡大を進めて参ります。

新規事業として、会員・就業拡大推進委員会の会員拡大事業として、会員の皆さんへ誕生日のお祝いとして「バースデーカード」に一言お祝いの言葉を入れて、日頃の感謝を伝えたいと思います。

また、近年デジタル化に世の中が動いているため、当センターに於いてもデジタル化を推進して参ります。デジタル化に慣れるための講習会や、会員同士の勉強会の実施を進めていきます。

昨年施行されたフリーランス新法の適切に対応と「新たな契約方法」への移行についても円滑に進めて参ります。

今後も、地域の期待に応えるため、シルバー人材センターとして基本方針に掲げた取り組みを推進して参ります。

※1：全シ協：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

2 重点事項

- (1) 会員数の拡充
- (2) デジタル化の推進
- (3) 自主・自立の組織づくり
- (4) 受注拡大と就業率の確保
- (5) 財務基盤の強化

3 シルバー人材センター事業

(1) 会員数の拡充

会員数は、シルバー人材センターの財務基盤の根幹をなすものであり、拡充を図ることは不可欠でありますので、会員拡大推進委員会を中心に積極的に取り組みます。

- ①会員拡大推進委員会の積極的活用
- ②町の広報誌「いちかい」やチラシを活用した会員募集の推進
- ③退会会員の抑制（会員の面談・理由の確認）
- ④バースデーカードの送付

(2) デジタル化の推進

- ①デジタルを活用した事務の効率化
- ②スマートフォンによる口座確認等講習会の実施

(3) 自主・自立の組織づくり

全員参加自主運営組織として職群班や理事会及び各委員会の強化等組織の活性化に努めます。

- ①理事会の活性化
- ②リーダーを中心とした職群班活動（グループ就業）の育成
- ③普及啓発月間「シルバーの日」をはじめとしたボランティア活動の実施

(4) 受注拡大と就業率の向上

新たな就業を獲得すべく基本に忠実に誠意をもって就業し、依頼者から信頼を得られるよう努めます。

- ①会員による1人1仕事就業開拓
- ②高齢者活用・現役世代雇用サポート事業による派遣事業の拡大
- ③職業紹介事業の推進や新たな職種拡大に向けた取り組み
- ④身近なところからの、訪問・声掛けによる掘り起こし活動の実施
- ⑤一般家庭へのシルバー人材センター事業PRチラシの配布